



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 ヤツメウナギの産卵

02 美幌峠のトウゲシバ

Vol.336

2025/07/01



町田善康 《シマエナガのヒナ》

Photo 今月の1枚

エナガ（シマエナガ）と言えば、冬のモコモコの姿が有名ですが、初夏に見かけるヒナも結構カワ（・▽・）イイ!!です。よく見ると目の周りは赤く、お化粧しているみたいでとってもオシャレ。見つけ方は、親の「ジュルリ・ジュルリ」という鳴き声がポイントです。（町田善康）



01 Green Column グリーンコラム

ヤツメウナギの 産卵

写真・文／町田善康

北海道で久しぶりに新種の淡水魚となるウチワスナヤツメが見つかり、すっかりヤツメウナギの虜になっています。

ヤツメウナギは、体の側面に7つの穴があり、それがまるで眼のように見えることから、本来の眼と合わせて「八目（ヤツメ）」と呼ばれます。口には顎がなく、5億年前から姿を変えていない原始的な脊椎動物せきついでうぶつの仲間です。美幌町には、カワヤツメとシベリアヤツメが生息しています。

初夏、産卵は砂利が堆積する瀬に、主にオスが穴を掘って産卵場所をつくれます。産卵場所ができると、吸盤のようになった口で雌は石に、雄は雌の頭に吸い付き、お互いが体を震わせながら産卵します。この時、雄が雌に巻き付き、まるで卵を絞り出すかのような行動を見せます。親魚は産卵後に死亡し、受精卵は2週間ほどでふ化

します。幼魚は、川の流れが緩やかな泥の中にもぐって生活し、有機物や珪藻類けいそうるいをじょうご状の口を使って食べています。幼魚の時は、泥の中から出てくるのがなく、まるでミミズのような生活をしているため、眼は皮下に埋没しています。卵からふ化して数年後の秋、眼が浮き上がり、変態して親魚となります。親魚となったシベリアヤツメは、餌をとらずに冬を越し、翌春になると産卵します。一方、カワヤツメは、一度海に降り、他の魚に吸い付き筋肉や血液を吸飲しながら成長した後、産卵します。

美幌峠の トウゲシバ

写真・文／城坂結実



シダ植物と聞くと、みなさんはどんなものを思い浮かべるでしょうか。花を咲かせない植物なので、一般的に注目されづらく、馴染みは薄いかもしれません。

しかし、意外なことに私たちの生活に関わる身近な植物で、例えば、春の山菜として知られるコゴミ（クサソテツ）やワラビ、ゼンマイ。お正月飾りの鏡餅の下に敷かれるのは、ウラジロというシダ植物です。

その形はというと、コゴミやワラビを初夏以降に観察してみるとわかるように、葉が平面的で全体は鳥の羽のような形をしています。

もちろん、物には例外がつきもので、シダ植物の中には全く違う姿形のものもあります。美幌峠で見られるトウゲシバという名前のシダ植物は、写真のように小さな葉が集まって立ち上がり、塔のような外見をしています。私

は初めてトウゲシバを見た時、この姿形から、シダ植物だとは想像もしませんでした。

さて、美幌峠のような場所に生育するから、トウゲシバという名前なのかと思って調べてみると、葉が何層にも重なる様子を”塔”に見立てた「塔華芝」説もあるそう。

トウゲシバは美幌町の市街地付近では見かけませんが、美幌博物館の第一展示室のジオラマで見ることができます。ジオラマ内で展示しているのはレプリカ（模型）ですが、本物と違えるほど精巧な作りです。とはいえ、草丈が10cm程度と、かなり地味な外見なので、注意深く探してみてください。

Exhibition 展示

特別展「蛍が舞う風景」

～10月26日(日)

ロビー展「フィルムで振り返る復刻上映」

7月19日(土)～10月5日(日)

Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

夏だ！昆虫グッズ！無料レンタル

8/31(日)まで 9:30～17:00

美幌博物館 受付・無料

対象/どなたでもご利用いただけますが、みどりの村敷地内に限ります。
返却は当日中をお願いします。

申込み/申込み不要

博物館講座(自然編)「恐竜が見た蛍の光はどんな色？」

7/12(土) 10:00～11:30

美幌博物館 2階 視聴覚室・無料

講師/大場裕一氏(中部大学)

対象/中学生以上(小学生以下は保護者同伴)

申込み/申込み不要、先着50名。

道みんの日 無料開館

7/17(木) 9:30～17:00

美幌博物館・無料

プチ工房「卵のバスボム」

7/25(金)、26(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館 1階 講座室・300円

講師/八重柏誠(美幌博物館)

対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み/申込み不要

送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越などでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどの
ご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

コラムでシダ植物について書いたように、最近ようやく(?)シダ植物が気に入り始めました。気にして探してみると、住宅の庭に生えていたり、あちらこちらで目に留まります。何かに興味を持つことは、自分の世界の彩りを増やすことだと、あらためて感じたのでした。(城坂結実)



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】城坂結実

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

